



令和 8 年 2 月号
編集発行人
京都府亀岡市内丸町 15
亀岡市立亀岡小学校
中舎 ゆう子
印刷所 (株) 天 声 社

調整の大切さを感じて



学校長 中舎 ゆう子

二月になりました。ところで、二月は他の月とは違って、たった二十八日しかありません。しかも、四年に一度だけ二十九日になります。また、その年を日本では「閏年」と言っています。この「閏」という漢字には、「あまり」「余分」という意味があるそうです。

では、なぜ四年に一度、二月に一日だけ余分に付け加えなければならないのかと思います。

一月一日から十二月三十一日まで数えると、三六五日になります。ところが、実は一年は三六五日ではなくて、三六五日と約六時間になるようです。六時間かける四で二十四時間つまり一日になります。それで、四年に一度、二月を一日多くすることで調整しているわけです。

この四年に一度の調整が、とても大

切なことも分かりました。もし、閏年で調整しなかった場合、ずれがどんどん大きくなって、約六百年後には、二月が真夏になってしまふとのことです。ちよつと想像できませんが、ずれが大きくならないうちに、調整しているのです。

日頃の生活の中で私達も、「そんなことで言われなくても・・・」と思った経験はありませんか。ですが、そのことがもし、どんどん大きなことになっていくと考えると気がついた時に、また、ずれが小さいうちに調整しておくことが大切だと考えます。

二月もあつという間に時間が過ぎて終わってしまいます。だからこそ、一日一日、一瞬一瞬を大事に子ども達、家庭、地域等の皆さまと共に過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2月行事予定表

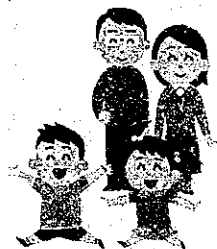
日 曜	学 校 行 事
1 日	
2 月	クラブX⑥(3年クラブ見学) 6年亀岡第3作業所見学
3 火	全校A5校時(14:35下校) 全校集会V⑤
4 水	フッ化物洗口
5 木	6年亀岡第3作業所見学 亀岡保育園園児交流(1年)
6 金	
7 土	
8 日	
9 月	クラブX⑥
10 火	
11 水	建国記念の日
12 木	フッ化物洗口
13 金	
14 土	土曜参観②(特別2校時(10:30下校) 東部心の教育11:00~)
15 日	
16 月	代休日
17 火	
18 水	全校4校時授業(13:10下校)
19 木	フッ化物洗口
20 金	
21 土	
22 日	
23 月	天皇誕生日
24 火	
25 水	全校A5校時(14:35下校) 6年生を送る会②③(6年保護者参観可) 6年生を祝う会 フッ化物洗口 亀岡中学校制服等販売(15:00~)
26 木	
27 金	
28 土	

図書ホランテニア募集!

亀岡小学校では、図書ホランテニアを募集しています。

興味のある方は、
学校へのお問い合わせを

電 話 (22-0155)
FAX (22-0281)



3月の主な行事

- 2 日 (月) 児童委員会⑥
- 4 日 (水) かめのこトーク
- 5 日 (木) フッ化物洗口(3学期最終)
- 12 日 (水) 全校短5校時(13:40下校)町別児童会⑤
- 13 日 (金) 全校短5校時(13:40下校)
- 16 日 (月) 全校短5校時(13:40下校)
- 17 日 (火) 全校短5校時(13:40下校)
- 18 日 (水) 全校4校時(13:10下校) 給食終了 大掃除④
- 19 日 (木) 5年生短縮4校時(12:00下校)
1~4・6年生短縮3校時(11:20下校)
- 20 日 (金) 春分の日
- 23 日 (月) 卒業証書授与式
- 24 日 (火) 修了式 特別3校時(11:30下校)

「三学きにがんばりたいこと」

一年

ぼくが、三学きにべんきようでがんばりたいことは、こくごです。きれいな字がかけられるようにがんばりたいからです。学校の生かつのことでは、そつじをがんばりたいとおもいます。きようしつがきらきらするくらいきれいにしたいです。



一年

わたしが、三学きにべんきようでがんばりたいことは、たいいくです。たいそつを大きなこえでできるようにがんばります。

学校の生かつのことでは、きゆうしよくをがんばります。なぜかという、ぜんぶたべられるようになりたいからです。

一年

ぼくが三学きにべんきようでがんばりたいことは、かん字です。なぜかという、きれいにかけたいからです。

学校の生かつのことでは、わすれものをしないようにしたいです。きらきらファイルをよく見てわすれないようにしたいとおもいます。

一年

ぼくは一人で自分のことをします。そして、学しゅうでは一日100回手をあげます。また、こまっている人がいたらたすけます。そして、みんながけがをしたり、こまったりしないように学校のきまりをまもる二年生になります。

一年

ぼくは、うつくしい字をかくことをがんばります。また、まい日えがおです。したいです。そのためにけんこうに気をつけてすごします。しつかりしたおにいちやんになります。

冬休みの思い出日記

二年

じいじとアルプラザにクレイゲームをやりに行きました。

ぬいぐるみはとれなかったけど、おかしはとれてうれしかったです。



その後、じいじとチョコバナナクレイプを食べに行きました。とてもおいしかったです。また行きたいです。

二年

おもちつきの日は、いい天気でした。わたしは、お友だちをむかえにいつていっしょにいきました。きなこと、なつとうの二しゅるいありました。どちらとも食べたけど、きなことほうがおいしかったです。

けつきよく、おもちつきをしたのに一番おいしかったのはいもでした。また食べたいです。

二年

わたしは、しすおかけんお前さき市から、長野けんの朝日村にどうする時に、ずっと水色のふ士山を車の中から見ていました。ふ士山の全体が見られるのはめずらしいから、見られてよかったし、うれしかったです。また見たいです。

二年

ぼくは12月29日にいとこと妹とお母さんとおもちつきに行きました。おもちにかけけるのは、きなことと大こんおろしとなつとうです。きなことちがおいしかったです。



二年

わたしは家でくみんで家でクリスマスごはんを食べました。みんなでねながらサンタさんが来るのを楽しみにまっていた。

二年

わたしはかごしまのおばあちゃんとおじいちゃんの家にあそびに行きました。海が近いので海へ行きました。海で貝をいっばい集められてよかったです。また行きたいです。

詩のくふうを楽しもう

三年

ふくろうがすき
くりががすき
まかろにがすき
かまぼこがすき
なべがきらい
とどうふけんがすき

三年

たのしいな
のびのびそだつみんな
しあわせな
いどころ
くらすは楽しい

らんぶの光のように明るい
すてきな友だち

三年

くらい夜
リースかざるよ
すてきな夜
マフラーつけて
すやすやまつよ

三年

あかいくちばし
ひらひらとおよ
るんるんおさんぽ湖で

二〇二六年、

こんな一年にします！

四年生は新年の抱負を漢字一字に込めました。

四年

『時』

友だちと過ごす時間も気づいたときには残り少なくなっていたり、あんなことやこんなことをやり残したなど思ったりしないように、一秒一秒を大切に過ごしていきたいです。四年一組の絆もどんどん深めていきたいです。

四年

『歩』

この漢字は上が「止まる」で、下が「少し」という漢字でできています。止まりながらも少しずつ進むという意味を込めてこの漢字にしました。来年の漢字は「進」にしようと思っています。次の

年はできることは全力でして止まることなく進みたいという意味を込めて決めました。

四年

「勇」

この漢字にした理由は、わたしはそんなに勇気を出したことがありません。たまに手をあげたり発表をしたりしています。でも最近できていなくて「別にやらずともいいや」になってしまっています。「立つて発表しようかな」と立つか座るかでやっぱり座ってしまふ。でもまだ三学期始まったばかりだから、勇気を出して発表したいと思います。



四年

「成」

理由は、三学期は全て成功するように頑張ってレベルを上げ、自分をりっぱにして、年下の見本になりたいからです。今は忘れ物などをしてしまっているのですが、忘れ物を減らすことと、テストでいい点を取るように毎日目標を作ろうと思いました。

今年の抱負を

漢字一文字で表しました

五年

僕の中の、今年の漢字は、「最」です。なぜなら、僕は、今年で六年生になって、最高学年で、亀小で最も高い学年

です。その中の最も部分を切り取って最という漢字にして、小学校最後で自分たちがしっかりしないと他学年の、見本にならなければならないし、今の六年生もしっかりとした見本をしてあげました。次は、自分たちがやらなければならぬから、しっかりと六年生のことを見ておいて、自分が六年生のときになったらとした姿を見せられるようにしたいと思っています。なので、今年の漢字は、「最」です。

五年

私の二〇二六年の抱負の一文字は「進」です。

その理由は、迷わず前に進み自分の意思で新しいことに挑戦する年にしたいと思ったからです。私は勇気がありません。でも、五年生の三学期は六年生〇学期でもあります。新しいことが多くなり四月になったら最高学年で、そのためには迷わず新しいことに挑戦し、カッコいい姿を見せていきたいなと思いました。そしてその姿を見てみんなが真似をして生き生きとした学校生活になると思います。そして絶対に自分の意見を言うこと。これがとても大切だと思いました。だれにどう思われても、自分の意見を言うことはとても力になることだと思ったからです。この年は進という文字を思い出して頑張っていきたいなと思います。

五年

僕の今年の漢字は「勝」です。理由は二つあります。一つ目は自分に打ち勝つと決めたからです。自分の弱

さに打ち勝ち自分の意思の力で感情をコントロールし、目標達成のために正しい選択をして行動するためです。これは他人に勝つことよりも大切で自分の成長や真の強さにつながります。

二つ目は勝負に勝つためです。なぜなら勝負には勝ち負けがあり、勝つためには勝ちにこだわって続け気持で負けない勝ちが必要だからです。また勝ち続けることで自分の自信が増え、次の新たな挑戦が待っているからです。

五年

僕の今年の漢字は「高」です。

「高」にした理由は、二〇二六年は最高学年の六年生になるからです。六年生になると仕事が増えますが、思い出てもたくさん増えます。今年一年間の経験は宝になると思います。

他にも最高の一年にしようという意気があります。やっぱり最後の学年だから楽しく過ごしたりたくさん思い出を作ったりしたいです。六年生になって五年生では出来なかったことや高められなかったことをできるようにしたり高めたりしたいと思ったからです。

ミュージカル鑑賞を終えて

一月九日に「王子と少年」というミュージカルを観賞しました。鑑賞を終えての学びやこれからにつなげたい考え方をまとめました。

六年

僕は、ミュージカル「王子と少年」を見て、色々なシーンに心を動かされまし

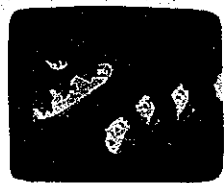
た。特に動かされたシーンが、誰に言っても信じてもらえない中、諦めずに真実を伝え続けるトムとエドワードの姿や、全く違う立場を経験して、自分らしさに気付いていく二人の姿などです。

あの姿を見て、真実を伝えることはとても勇気のいることだけれど、勇気を振り絞って伝えることが一番大切なんだと学びました。二人が本当の自分らしさを取り戻して、元の生活に戻ろうとしているところも、身分や装いで判断せず、みんな立場を平等にして、誰にでも同じように接することの大切さが伝わってきました。

また、鑑賞以外の場面でも、お世話になった人に自分から挨拶をしたり、お礼を言ったりしてみました。今日は、学校生活残り四六日の一日を特別な日常として過ごせました。後学校生活は六年間の中の残り五%で、これからのこの五%を最後まで成長を止めず、有意義なものにしていきたいです。僕は、ミュージカルを見に行くのは初めてでしたが、とても良い経験になりました。

六年

私が王子と少年の演劇を見て思ったことは、姿で人を差別すること、判断することは良くないと思つたし、再確認しました。理由は貧しいボロボロな服を着ているだけで、門の中に入れないシーンがあったからです。二人ともなりたい自分になるために洋服を取り換えつつあったけど、結局大変なことばかり



だし、個人個人大変なことが分かったと思
いました。変わるのではなく、自分らしく
過ごしたいなと思いました。感じたこと
は、洋服で差別され、罪を着せられるこ
とはおかしいし、ひどいなと感じました。
これからの人生で生かしたいことは見た
目で人を判断しないこと、変わるのでは
なく自分らしくいることを生かしたいで
す。見た目で判断するのではなく、中身で
判断したいし、それが大事だと思ったから
です。合わせることも大切だけど、自分を
変えることで大変な思いをしているように
見えたから、自分らしく過ごしたいと思
いました。この二つをこれからの人生で生か
していきたいです。

「給食を通じた健やかな 成長を目指して」

給食主任 佐々木 菜摘

近年、子どもたちの食を取り巻く環
境は大きく変化しています。便利な食
品が増え、手軽に食事ができるようにな
った一方で、食事の時間や内容が不規
則になりやすく、生活リズムの乱れや
朝食の欠食、好き嫌いの増加といった課
題が見られるようになりました。また、
食そのもののへの関心が薄れ、食事を大切
にする気持ちが育ちにくくなっているこ
とも懸念されています。

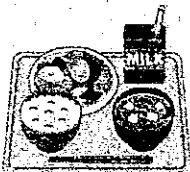
そのような中で、学校給食は子ども
たちが安心して学校生活を送るための
大切な基盤となっています。成長期に必
要な栄養をバランスよく摂取すること
は、健康な体づくりだけでなく、学習
への集中力や意欲を高めることにもつな
がるとされています。

さらに、給食は「食べることを通
して多くを学ぶ場でもあります。主食・
主菜・副菜がそろった食事の形や、決
まった時間に食事をする習慣、よく噛
んで味わうこと、苦手な食材に向き合
う経験など、日々の給食の積み重ねが
将来にわたって役立つ食習慣の基礎を
育んでいます。

特に、子どもたちは野菜に対する好
き嫌いが多く感じています。もちろ
ん、無理に嫌いなものを食べさせる必
要はありません。食べるかどうかを選
択するのは子ども自身です。しかし、
幼い頃から「少し挑戦してみること」
や「食べてみようとする姿勢」に価値
を見いだすことは、とても大切だと考
えています。

先日開催された「京都府学校給食研
究協議大会」で、印象的なお話を伺
いました。東京都のある小学校では、給
食の残菜が七割にも及んでいたそう
です。しかし、校長先生が苦手な食材を
食べている児童に「すごいね」と声を
かけて回ったことをきっかけに、わず
か三か月後には残菜がほとんどなくな
ったとのことでした。子どもたちは認め
られることで自信を持ち、「見てて！」と
進んで挑戦するようになったそうです。
本校の一年生の学級でも、入学当初
と比べて残菜が大きく減少しました。

「二つ食べられたよ！」と嬉しそうに報
告してくれたり、
「人參だけ減らして
くれたら全部食べら
れる！」と自分で考
えて選択したりする
姿が見られるように



なっています。

「ご家庭でも、苦手な食べ物に挑戦で
きた際には、「すごいね」「よく頑張った
ね」と温かく声をかけていただければと
思います。

また、友だちと一緒に食べる給食は、
心の成長にもつながります。「いただき
ます」「ごちそうさまでした」という言
葉を通して、食材や調理に関わる人への
感謝の気持ちを学び、同じ時間に食事
を共有することで思いやりや協調性が
育まれます。

給食は、多くの人を支えられて成り
立っています。そのことに感謝の気持ち
を大切にしながら、今後も楽しく給食
の時間を過ごせるよう、スクールラン
チ委員会を中心に取り組んでいきたいと
思います。

通級指導教室と理解教育

通級指導教室 柏木 智苗美

通級指導教室とは、文部科学省によ
ると、学校の中に設けられた専門の教
育を行う場であるとされています。通
常の学級の子どもたちを対象に設置さ
れている通級指導教室は、共生社会の
形成に向けたインクルーシブ教育シ
ステム構築のために必要不可欠なもの
となってきました。

亀岡小学校には、通級指導教室が四
教室あります。通級指導教室では、子
ども自身がなりたいた自分をイメージし、
ものの見方、考え方、体の使い方を学
び、自分なりの学び方を見つけること
を目標にしています。自分で自分なりの
学び方を知り、学ぶ環境を広げる、選

択できる手助けをした
いと思います。みんな
が学び方に対して「納
得」し、生き生きと学
習する通級指導教室を
目指しています。

また、亀岡小学校では、さくら学級、
通級指導教室、ほっとルームについて
理解教育を全校児童に向けて行ってい
ます。通級指導教室では、低学年の児童
に向けて授業をしました。人それぞれ、
同じ顔の人がいないように、人それぞれ
の感じ方があります。例えば、教室が
暑いと感じる人もいれば、寒いと感じる
人もいます。痛みの感じ方にも違いがあ
り、「これぐらいなら大丈夫」と思える
人もいれば、「気になってしょうがない」
という人もいます。そんないろいろな感
じ方を大人も子どもも持っています。

様々な人と共に生活し、活動していく
中で「自分は平気でも苦手と思っている
人はいるかもしれない」という視点
を持ち、自己理解も他者理解も深めて
ほしいという願いを持って、理解教育を
行いました。また、成長していく中で、
苦手なことに出会ったとしても、少しの
工夫と頑張り、意識で得意に変えるこ
とができるということも話しています。
そして、「こんな時どうすればいいか
な。」ということがあれば、いつでも先
生や友達、お家の方に相談し一緒に方法
を考えていこうと、声をかけています。
お家でも励ましの言葉かけをしていただ
けるとありがたいです。もし、学習や生
活のことで気になることがありましたら
担任や通級指導教室担当までお声かけ
ください。

